



人類に
奉仕する
ロータリー

Yokohama Naka Weekly Report

2016～2017年度 国際ロータリーのテーマ

●事務局

〒231-8520
横浜市中区山下町10番地
ホテルニューグランド内

TEL 045-664-2002

E-mail jkynrc@cocoa.ocn.ne.jp

URL http://www.rc-yokohama-naka.jp/

●例会

毎週金曜日
12時30分

ホテルニューグランド

会 長 ▶ 山形 光 正
副 会 長 ▶ 橋本 吉行
幹 事 ▶ 蕭 敬 意
会報部会長 ▶ 永 持 健

平成 28 年 9 月 16 日 第 1954 回 例会 記録

相撲部屋のおかみさんと平成の力士たち



【目次】

- 1. 開会～来賓紹介.....P.1
- 2. ゲスト挨拶.....P.1
- 3. 会長報告.....P.2
- 4. 贈呈.....P.2
- 5. 委員会報告.....P.3
- 6. 幹事報告.....P.3
- 7. ニコニコボックス.....P.4
- 8. 卓話.....P.4
- 9. 昼食メニュー紹介....P.8
- 10. 今後の例会予定.....P.8

1. 開会～来賓紹介

開会～合唱

- 司会 菊池一行SAA
- 開会・点鐘 山形光正会長
- 合唱 「日も風も星も」
指揮：親睦部会 徳永福次会員

ゲスト

- 高濱 玲奈 様 (川崎大師RC・春日山部屋おかみ)
- 上形 泰俊 様 (地区副幹事・川崎西RC)
- 藤田 茂樹 様 (川崎西RC)

ビジター

- 牛山 裕子 君 (川崎大師RC会長)
- 猪狩 佳亮 君 (川崎大師RC国際奉仕委員長)
- 石渡 利治 君 (川崎大師RC出席委員長)

▼出席状況

会員総数	免除者	出席者	欠席者	免除者の内 出席者	休会者	出席率
53 名	15 名	38 名	15 名	10 名	2 名	79.1 %

2. ゲスト挨拶

上形泰俊 様 (地区副幹事・川崎西RC)

地区大会、各イベントにご協力を

本日は地区大会の「全員登録のための参加促進キャンペーン」に伺いました。来たる11月11～12日に、横浜の国際会議場にて地区大会を開催予定です。パンフレットを皆様のメールボックスにお入れしました。

(1) 11/11-12：地区大会

今年度の地区大会のメインは、高良ガバナーの思いによりまして「クラブが輝く地区大会」を基本にし

▼ゲストの上形様と藤田様



て、各クラブの展示を中心とした展示コーナー、そして1日目の会長・幹事の会議のときには各グループから2クラブずつの代表公演（15分くらいのミニ公演ですが）、事例公演をしていただきまして、その活動を皆に報告していただいて各クラブの今後の活動になるように……ということを考えております。

1日目には、私の同業で学校の先輩でもある山形県鶴岡RCの藤川享胤パストガバナーによる**地区指導者育成セミナー**ということで基調講演を行います。こちらは一般の会員でも聴講可能ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

2日目には、ちょうどタイムリーな企画があります。今いろいろな問題で世間を騒がせている2020年東京オリンピック。そのオリンピックの招致委員でもあったスポーツメーカー・ミズノの会長であり、隣の東京2580地区のパストガバナーの**水野正人さんの「2020年東京オリンピックのレガシーとロータリーの多様性」**というテーマの公演を行います。こちらは事前登録にてご聴講ください。

2日目には別室で2つのイベントが計画されています。今年ちょうどロータリー財団の100周年にあたるので**財団奨学生の交流会**を午前中に行う予定です。当クラブにも財団学友等大勢いらっしゃると思いますので、どうかご紹介いただきご参加いただけますようお願いいたします。

午後からは毎年恒例の**青少年交換会**を同じ会場で開催予定です。米山など、青少年関係の各財団を含めての参加も可能です。案内が近いうちに参ると思いますのでご手配をよろしく願います。

なお、地区大会に先立ち、2つのイベントが予定されています。

(2) 10/5：東日本大震災と熊本地震のチャリティディナーショー

ひとつ目は「東日本大震災と熊本地震のチャリティディナーショー」(10/5にロイヤルパークホテルにて開催予定)です。ゲストは歌手の由紀さおりさんです。参加費は2万円となっておりますが、由紀さおりさんの通常のディナーショーの料金は4～5万とのことですので、今回はかなり格安となっております。600名集まらないと赤字になってしまうそうなのですが、今のところその4分の1程度しか申し込みがないそうです。地元横浜の皆さんのご協力で、たくさんの方にご参加いただければと思います。

(3) 10/18：「ポリオ撲滅チャリティゴルフ大会」

2つ目は「ポリオ撲滅チャリティゴルフ大会」(10/18によみうりゴルフクラブにて開催予定)です。こちらも参加枠がまだ半分以上空いております。ゴルフ好きの方はたくさんいらっしゃると思いますので、奮ってご参加をお願いします。

地区大会に際し、さまざまな面でご協力をお願いすることが多いかと思いますが、よろしく願いいたします。

3. 会長報告

[1] 富山中RCより活動計画書と会員名簿

届いておりますので、あとで回覧します。

[2] RYLA委員会

昨晚参加し、いろいろとお話を聞いて参りました。ホストクラブとして大変な仕事が待っておりますので、皆様、後ほどになりますのご協力をお願いします。

[3] 事務の高山さんの件

事務の高山さんがお休みしておりますが、家族の事情でこの2～3週間は少し早めに帰る必要があるなど大変な状況です。皆さん、例えば委員会の案内等、高山さんに任せていた部分がありましたらご自身で作っていただいて、なるべく高山さんの仕事を軽くするように努めていただきたいと思います。

4. 贈呈

[1] 前年度100%出席者へ記念品を贈呈

- 前年度100%出席者：
青山、加藤、木村、齋藤、杉島、須永、千田、高木(則)、高橋、谷川、寺道、橋本、吉田、菊池(一)

▼武藤前会長から代表の木村会員へ



須永カウンセラーへ感謝状を贈呈

米山記念奨学会から須永会員宛にカウンセラーの感謝状が届きました。

▼山形会長から須永会員へ



5. 委員会報告

親睦部会 松井部会長

勝沼日帰りバスツアーへのご参加を

先日お伝えした通り、9月26日に開催予定の「勝沼醸造ワイナリー日帰りバスツアー」の参加者がちょっと少ないです。バスをチャーターして行くので、予算的にある程度の人数が必要です。もう何名か参加できる方がいらっしゃいましたらご協力をお願いします。

社会奉仕委員会 青山委員長

ワイナリー紹介とバザー出品のお願い

バスツアーのPRです。今回行くワイナリーは、昨年、会長はじめ何人かで見に行きました。マニアックなワイナリーで、日本ではなく世界に通じるワインを作っております。日本のワインがそこまで有名になったのはこのワイナリーの力だとのこと。ワインもお料理にあわせていろいろと出していただけられますが、本来であれば1万円のコースを今回は7000円にさせていただいております。ブドウは千疋屋に卸しているブドウ屋さんです。どちらもとてもいいメニューになっておりますので、まだ保留になっている方や、ご家族、ビジターの方々もぜひご参加いただければと思います。

次は社会奉仕のお願いです。中区の肢体不自由児のバザーの商品を集めております。もし品物がない場合は現金でも結構です。来週の例会を締切ですのでご協力をよろしくお願いします。

障害者作品展 齋藤委員長

障害者作品展の企画書について

配布した障害者作品展の企画書についてご説明します。本来ならもっと遅くと思っていたのですが、県民ホールが1月30日～2月5日しか空いていなかったので、申し訳ありませんが2月の2～5日という日程で開催したいと思います。裏に金額等が載っていますが、地区の補助金に申請した文章をそのまま企画書として皆さんにお配りさせていただきました。

障害者施設のB型の「ぴおどり」というところにまたご協力いただきます。来週の22～26日に横浜らぼーとの3階で、全国101の障害者施設から作品を集めた「全国ナイスハートバザール 2016 in 神奈川」が開催されます。神奈川からの31施設の中に「ぴおどり」が選ばれて作品を展示しますのでぜひご協力をお願いします。お孫さんが使えるようなキーホルダーや髪留め等を販売しております。

6. 幹事報告

[1] 本日のポストイン

- 第1953回例会会報（希望者のみ）
- ポール・ハリス・ソサエティへの入会のお願い
- ハイライト米山198号

[2] 「お元気ですか」

横浜市社会福祉協議会より「お元気ですか」第176号が届いております。

[3]～[6] 本日締切のイベント

お急ぎの申し込みをお願いします。

- 10/5「熊本地震・東日本大震災チャリティ会員家族ディナーパーティ」
- 10/18「ポリオ撲滅チャリティゴルフ大会」
- 11/12「地区大会本会議」
- 11/27「ロータリー財団100周年記念シンポジウム」

[7] 10/17開催「横浜RC対抗ゴルフ大会」

締切まであとわずかです。お早めのお申し込みを。

[8] 本日の100%テーブル

▼ 1番テーブル



▼ 6番テーブル



[9] 例会変更通知

例会変更通知は掲示板をご覧ください。

7. ニコニコボックス

◆ ゲスト

上形泰俊 様、藤田茂樹 様 (川崎西RC)

本日は地区大会の参加促進キャンペーンにお伺いいたしました。どうぞよろしく願いいたします。

◆ ビジター

牛山裕子 君 (川崎大師RC会長)

ご無沙汰しております。本日は、私共クラブ会員高濱玲奈さんの卓話を応援に参りました。よろしくお願ひ申し上げます。

石渡利治 君 (川崎大師RC出席委員長)

本日はお世話になります。

◆ 会員

山形会長、橋本副会長、蕭幹事

春日山部屋の高濱玲奈様、ようこそお越しくださいました、神奈川県に唯一の相撲部屋のお話、大変興味深いテーマです。卓話を楽しみにしております。本日はよろしくお願ひいたします。

谷川操一 会員

高濱様、本日の卓話、誠にありがとうございます。感謝申し上げます。また、牛山川崎大師RC会長、猪狩国際奉仕委員長、石渡出席委員長の皆様、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりとおくつろぎくださいませ。

共通テーマ

春日山部屋の高濱玲奈おかみさんの貴重なお話です。調べると相撲部屋は現在44ありますが、春日山部屋は川崎市内という国技館から少し遠いのではないかという場所に居を構えられています。9月場所は11日から始まり、お忙しい中にもかかわらず、ご足労いただいたおかみさんのお話を拝聴いたしましょう。みなさんで神奈川県唯一の相撲部屋、春日山部屋を応援いたしましょう。

※佐藤、金子、徳永、服部、須永、武藤、菊池(武)、齋藤、坂田、千田、松井、横山、大谷、高橋、大堂、西山、窪倉、寺道、田代、杉島、依田、野坂、後藤、菊池(一) 各会員計24名

ニコニコボックス・今回の合計	36pt
本年度の累計	513pt

8. 卓話「おかみさん平成場所」

谷川会員

ご覧の通り、大変美しい方です。かんたんなプロフィールをご紹介します。

- 1975 (昭和50)年：愛知県岡崎市で生まれる。
- 祖母の影響で幼い頃より大相撲を観戦。
- 2007年：元幕内濱錦と結婚。
- 2012年：濱錦が引退し、春日山親方に。以降、おかみさんとして春日山部屋をとりしきる。

おかみさんは日々勉強とのことです。(美しいおかみさんにお世話をされる力士の皆さんは) 大変幸せじゃないかなと思って羨ましい限りです。皆さん、春日山部屋のファンになって協力してください。

高濱玲奈 様

人生の大先輩の皆様の前でお話をさせていただくことに、大変緊張・恐縮しております。お聞き苦しいかと思いますがどうかお許してください。

現在の家族は春日山部屋の春日山親方と、もうすぐ5歳になる娘です。趣味は相撲観戦です。相撲部屋にしながら相撲観戦が趣味とは変わっているとよく言われます。

大師RCには平成26年7月に入会しました。ロータリーも、相撲のおかみもまだまだ新弟子状態です。

とても希少な「おかみさん」

今回の演題は「おかみさん平成場所」ということで、特に「平成」ということに少しこだわって内容を考えてみました。

私は今日まで日本相撲協会の現役力士の「おかみさん」として7年、その後、相撲部屋の「おかみさん」として4年という年月を過ごしてきました。まだまだ「おかみさん」のヒヨッコです。

相撲界ではいわゆる師匠と呼ばれる部屋持ちの親方も、そうでない親方も、あるいは現役の関取(十両以上の力士)も、結婚相手の奥さんのことをみんな「おかみさん」と呼びます。しかし今は関取の数も少ないので、相撲界で「おかみさん」と呼ばれる人は、ほんのひと握りで、とても希少です。

今まで多くの人たちに「なんでお相撲さんなんかと結婚しちゃったの?」「どこで知り合っちゃったの?」とよく聞かれます。まずはその出会いからお話したいと思います。

私は愛知県の生まれなのですが、将来は音楽の道に進むつもりで、東京の音楽大学を目指していました。音大に行くためには、早くから目標をもってそのルートで進んでいく必要があります。ですから子供の頃からほとんどの時間を、学校とさまざまな音楽のレッスンに費してきました。

そんな中での私の唯一の楽しみは、今はもう亡く



なった祖母と相撲観戦に行くことでした。祖母はお相撲が大好きでした。そんな祖母に連れられて小さい頃から2人で、名古屋場所はもとより、東京、大阪、福岡と相撲観戦に行きました。その影響もあってか、本場所中は学校から帰って来るとテレビで相撲を見ているという、ちょっと変わった子供でした。

中学を卒業し15歳で愛知の実家を出て、念願叶って東京の音大の付属高校から大学へと進みました。厳しい寮生活と厳しい音楽のレッスン、「音楽」と「相撲」というちょっと変わった青春時代を過ごしました。

「スー女」と「相撲ギャル」

今は第2次相撲ブームといわれていまして、相撲好きな女子のことは「スー女(すうじょ)」という言葉で呼ばれています。以前の第1次相撲ブームの時は「相撲ギャル」と呼ばれていました。第1次相撲ブームの時代は、皆様もご存知の通り、若貴兄弟がのぼりつめていく時代です。

ご存知ない方もいらっしゃると思うのですが、大相撲の本場所は朝8時くらいから始まります。最初に行われるのは序の口(一番下の番付の力士)の取り組みです。土俵周りはまだ暗く、スポットライトもありません。観客もまばらで、もちろんテレビ放送も行われません。私の祖母はそんな番付が下の力士から声援を送り、そしてその力士が徐々に番付を上げていくのをとにかく楽しみにしていました。ですからそんな早い時間から私も取り組みを見ていました。

若貴兄弟が入門してきて、まだ髷も結えない頃、まだマスコミが騒ぎ出す前のことでしたが、小学生だった私に祖母が「この子たちはね、昔強かった大関貴ノ花という人の子供たちなんだよ。絶対に強くなるから、いつか必ず横綱になるから見ておきなさい」と言った言葉を、今もはっきりと覚えています。

さて、今になって親方は「おれも相撲ギャルにつかまっちゃったんだよなあ〜」と言うのですが、私は力士を追っかけるわけでもなく、黄色い声援を送るわけでもなく、いわゆる『相撲ギャル』とは違う世界観で相撲を見てきたので、そう呼ばれると私自身は心外な

んです。そんな風に相撲を見てきた中で、長い長い歴史の中で脈々と続けられていく伝統や、華やかに見える世界を支えている『裏方』と呼ばれるたくさんの人たちがいること、力士が関取と呼ばれる地位にあがっていく悲喜こもごものプロセスも知りました。その時代に生きる普通の若者が、普通とはかけ離れた世界でストイックに生きていく様、本場所の芸術的な美しさなどに魅かれていったのだと思います。

卒業試験で相撲を

これはお恥ずかしい話なのですが……。大学の卒業試験のときに『音楽史』で小論文のテストがあったのですが、私は答案用紙を埋めることができず、仕方なく、空欄にするよりはという思いで、「相撲の歴史と自分の相撲観」について書きました。答案用紙の最後は「音楽史について書けなくてすみませんでした」と締めくくりました。当然ながら合格は諦め「担当教授には叱られるんだろうな」と覚悟を決めていたのですが、なんと合格をもらい、なんとか無事に卒業できたのです。今思えば、なんとも粋な計らいをしてくださった教授なのか、できの悪い生徒を憐れんでくださったのか、はたまたその教授が大相撲ファンだったのか、とても怖くて聞けませんでした。相撲のおかげで大学を卒業できただけは事実で、感謝しています。

こんな私でしたので、力士は私にとっては、とても身近な存在でした。15歳で親元を離れて入門する子がいたり、小学校の頃からずっと相撲道を目指してきた人がいたり。厳しい稽古と、わがままが許されない相撲部屋での上下関係優先体質や共同生活など、私には道こそ違えど、ひとつのものを極めていくという点で、とても理解できたのです。

結婚の厳しい現実

そんな中で出会ったのが夫の高濱こと、現在の春日山親方でした。当時、夫は日本大学相撲部を卒業して、祖母が応援していた相撲部屋に入門したばかりの新弟子でした。ひとつ年上の私は大学を卒業して中学校で音楽の教員をしていました。趣味が音楽で、教員免許を持ち、「力士にならなかつたら学校の先生になりたかった」という親方とは妙にウマが良かったです。そして多事多難のすえ、結婚しました。

でも厳しい現実が待っていました。結婚してからも、まさに波乱万丈の日々でした。順調に番付を上げ、幕内へ昇進。そのまま関取でいらればよかったのですが、度重なる怪我のため番付は下がり、関取の地位もなくなり、経済的にも精神的にも苦しい長い年月を過ごしました。それでも「いつか必ず! もう一度!」という精神で頑張ってきた夫婦のプロセスがありま

す。苦しい状況の中、私たちを支えてくれたのは、どんな時にも変わらず応援してくださった方々の温かい励ましでした。そんな長く苦しい夫の現役時代を話すと、長すぎて皆様はこの会場から帰れなくなってしまいますので、省かせていただきます。

一筋縄ではいかないプロセスを経て、今は親方と春日山部屋を守っていく立場になりましたが、部屋を応援して下さる方々、力士たちを見守って下さる方々への感謝の気持ちは決して忘れてはいけない、というのが私たちの経験から学んだ基本でもあります。

「力士の世話」はおかみさんの仕事

さて、相撲部屋というのは、しばしば「家族」のように表現されることがあります。大切な子供（弟子）を育て、鍛えるのは父（師匠・親方）の役目。そしてその子供たちを陰になり日向になり支えるのが母（おかみさん）の役目だといわれています。しかし今や、私たちをとりまく環境は急速に変化しており、この日本の「家族」のしくみも多種多様になり、『サザエさん』のごとく、父親の役目、母親の役目は当てはまらない家庭の方が増えている中で、相撲部屋は、やはり昔ながらの日本の「家族」の体（てい）を成しているといえます。

おかみさんの仕事は多岐にわたります。まず大切なのは「弟子の世話」です。若い衆を連れて、ちゃんこの準備のために買い物に行きます。よく「大人数の料理、大変でしょ？」と言われるのですが、ちゃんこの調理と食事は力士たちが自分で全部やります。彼らの方が料理はととも上手です。

誰かが熱を出したり怪我をしたりすれば、深夜だろうが早朝だろうが病院まで連れて行きます。これは我が子と同じです。インフルエンザなどが出れば隔離しなければいけないのですが、23人も力士が寝食を共にしているのですぐに感染してしまうおそれがある大変です。怪我で長く入院生活を強いられる力士もいます。その精神面をサポートしたり、また体重を落とさないように健康面の管理をしたりしなければなりません。

また、お小遣いの管理をしたり、貯金をさせたり、悩んでいる力士の相談に乗って、励ましたりもします。ひとりひとりの力士を応援して下さっている方への感謝の気持ちやお礼の言葉も忘れてはなりませんし、大切な子供を預けて下さっている親御さんへの報告も忘れてはいけないことの1つです。

「ゆとり世代」の力士たち

リオオリンピックのとき、あの日本の「シンクロの母」と言われる鬼の井村コーチが「今の子どもたちは心が弱い！ 指導方法も変えていかなきゃならないから難し

い」とおっしゃっていましたが、その通りだと思います。

現在、春日山部屋には下は15歳から上は35歳の23人の力士が生活しておりますが、そのうちの15人は平成生まれのいわゆる「ゆとり世代」といわれる子たちです。「失敗を恐れる」「打たれ弱い」「自主性なし」「プライベート優先」などと形容されていますが、まさにそうだな、と感じることもままあります。イケイケ気質はなく、根性論はまったく通じません。

今、部屋では1階には「ゆとり世代」が、2階には「昭和生まれ世代」の兄弟弟子たちが生活しています。自然に部屋割りがそのような形になり、1階は人数が多くて本当にギュウギュウなのですが、この部屋割りがいいようです。

時にはお互いがお互いの言い分を主張してきて「何とかしてください！」と言われて、その返答に窮する事もあります。親方は「甘やかすな！」「自分で考えさせろ！」「かまいすぎ！」など言うのですが、みんながみんな親方のような性格や成育歴や相撲歴を持っている訳ではないと私は思うのです。

「ゆとり世代」という言葉は、若者を批判する際に使われることが多いのですが、「安定志向」で「儉約家」、「独創的発想」を持ち合わせて「ITに強い」など、いい面もたくさんあります。自主性に欠けてはいても自己主張はします。協調性に欠けてはいてもその場の空気を読んで合わせたふりはできるのです。

ただ「そんなこと言われなくてもわかるだろう」とか「みんな心合わせて」とか「自分で考えて行動する」とかは苦手な

ようです。本場所中に1つ負けると「もう死にたい」「自分は相撲には向かない」「もうイヤになった」と言ったりSNSに書いたりするので、こちらがめげそうになります。私にもメールが送られてきたりします。「負けるたびに死んでたら、いくつ命があっても足りないだろが!!」というのが実は私の本音ですが、「でもすぐ頑張ってたじゃん！ いい相撲だったと思うよ、くやしいけど忘れて次にファイト！」などと絵文字付きで返信します。

ナンバーワンにならなくてもいい力士

そんな彼らは、勝負を賭けた本場所が終わり、負け越してどんだけ落ち込んでいるんだろうと、おそろおそろ顔を合わせてみると、「お疲れさまっス！」と明るいです。達成感や成就感ではない「ああ、終わった、やっと終わった！」感でいっぱいなのでしょう。場所休みに遊ぶに行く計画を話してくれたり、見に行く映画の話をしたりしてくれるので、こちらとしてはホッ



とすると同時に「あれ？」という思いになるのです。

まさにSMAPの歌にもある「No.1にならなくてもいい、もともと特別なOnly one～♪」という「ゆとり教育」を受けたまさに平成生まれの若者たちです。しかし、私は心のどこかで「勝負の世界で生きる男だろ！ ナンバーワンにならなくてどうすんだ!!」という思いもあるのです。

23人の若者たちの様々な想いと、夢と、現実の日々のできごとを抱えていると、家族で泊まりがけの旅行に出かけたり、夏のバカンスを楽しんだり、という生活はありえないのが現状です。

とにかく忙しいおかみさん

おかみさんの仕事は「力士の世話」以外にもたくさんあります。部屋における土俵以外のことはほとんど「おかみさんの仕事」といっても過言ではないと思います。親方のスケジュール管理、取材広報対応、後援会との付き合い、チケットの手配、千秋楽打ち上げの手配や段取り、近隣との付き合い、差し入れに対するお礼状を書く、番付を後援者に郵送するといった事務作業や、部屋全体の経理業務も大切な仕事です。

そして、私にも家族がいます。これは今一番私ができていないことで、お恥ずかしいのですが、1人の妻として夫を支えねばならず、幼い子供もいますので子育てもしなければなりません。幸い親方は元・力士だけあって、自分の事は自分でやれる人ですし、子育てにも協力的ですからとても助かっています。

おかみさんには積極的に公の場に出る人と、一步引いて支えることに専念する人とがいるといわれています。例えば、昨年急死した故・北の湖理事長の夫人・とみ子さんは、ほとんど表に出ることはなかったそうですし、一代年寄の部屋の仕切りは大変だったでしょうが、理事長になってからもその姿勢を貫き、37年間にわたって陰で支え続けたそうです。

最近のおかみさんはテレビ取材に快く応じたり、個人のSNSやブログで積極的にアピールされている方もいます。やり方はどちらが正しいというわけではないと思います。ただ、部屋の雰囲気を作るのは、おかみさんの手腕によるところが大きいことだけは間違いないように思います。

私はまだまだ「おかみさん」と呼ばれるほどの経験も度量もなく、駆け出しの「新米おかみ」です。それでも相撲部屋の一員として、彼らの夢と共に歩むこの世界が私は好きです。ですから「いやだなあ」とか「こんなことしたくないなあ」とか思ったことは一度もありません。



「関取」は8%の狭き門

力士たちは、現在も頭に髷を結び、着物を着て、さながら時代絵巻から飛び出してきたように見えます。ですから、彼らの生活については、皆さんもなかなか想像しにくいようですが、普段の生活はテレビを見たり、ゲームをしたり、女の子の話をしたり、漫画を読んだり、多くの若者たちと同じように自由な時間を過ごしています。

しかし、勝負の世界に生きる彼らは、やはり日々、切磋琢磨しております。我慢に我慢を重ねることもたくさんあります。なぜなら力士の生活で一番の目的は本場所の相撲で良い成績を上げ、一日も早く一人前の関取になることだからです。

しかし現実には入門した新弟子が「関取」と呼ばれる十両以上の力士（資格者ともいいます）になれる確率は8パーセントもありません。それは「相撲部屋の中に、もし10人の力士がいたら、その中に関取が1人もいなくてもおかしくない」ということになります。春日山部屋にも現在まだ関取はおりません。つまりたくさん弟子をお預かりしても本当に強くなるのはひと握りの力士で、あとは養成員のまま引退することになってしまいます。これは新米親方と新米おかみに与えられた最重要課題でもあり、その重圧は大変なものではありますが、やりがいもあります。

重要な点は、力士自らが、本気でやる気を出しているかどうかにかかっています。相撲の世界は、周知のとおり実力の世界で、強い力士を育てるのが目的です。たとえ素質があっても、やる気のない者を育てることはできません。しかし、やる気を出すためにしていることはというと「行（おこな）わせて矯（た）める」というのが相撲界の指導です。つまり手取り足取りで教えるのではなく、「学びとらせる」ということです。

義務教育と相撲部屋の指導の違い

では、その「学びとらせる」方法とはといえば、前もって理論や説明を行い、その後、実際にやらせるという近代的な教育方法とは対照的なものなのです。つまり、実地教育、実物教育による習慣形成に重きをおいているということです。ということは、何の説明もなく行動するのですから、周りを見て、それを模倣するという方法がとられているわけで、その結果、失敗を通して初めて学ぶことになるわけです。あとは自然の成長にまかせているように思われます。「指導者が手をさしのべて引っ張り上げる」ようなことは、力士としての自覚を、はっきりとやる気として見せない者に対してはしない……ということです。

私は公立の小・中学校の教員としての経験がありますが、これが義務教育との大きな違いだと最近になって気づきました。義務教育の中では「いかに子どもたちの学習意欲を引き出すか、いかにやる気を起こさせるか」が課題でした。それが相撲部屋ではそうではないのです。

人生観によって人は輝く

いつの時代も、どんな時でも、「夢」や「目標」をもっている人は輝いて見えます。それは年齢とは全く関係のない、その人を輝かせる人生観にあるのだと思います。ロータリークラブに入会させて頂き、今まで以上に沢山の方の人生経験を学ぶことができ、お知恵や、お力、ご指導をたまわることができ、大変ありがたく思っております。

まだまだ駆け出しの「ひよっこおかみ」ですが、自分一人ではなく、力士と共に成長していきたいと思っております。そして神奈川県唯一の相撲部屋である春日山部屋から「関取」を出して皆様に喜んで頂けるように、親方と共に努力していきたいと思っております。本日は私の拙い話を聴いていただき本当にありがとうございました。

尚、本日は皆様のご協力を仰ぐべく、春日山部屋後援会への入会を、ぜひお願いしたいと、入会申し込み用紙も持ってまいりましたので「入会してもいいかな?」とご検討の方は、後ほどお声かけ下さい! 親方の元に手ぶらで帰るわけにはいかない私の立場をお察しただけならと思います。あとは、「体の大きな子がいるよ」といったお話がありましたら春日山部屋に声をかけていただけたらと思います。本日はありがとうございました。

山形会長から御礼のご挨拶 ～ 閉会・点鐘

高濱様、ありがとうございました。私は田舎生まれなので幼少期はテレビしか娯楽がなく、スポーツは野球かプロレスか相撲でした。祖父や父と一緒に見ているうちに、相撲を好きになった思い出があります。伝統的な世界でかなり大変な仕事をなさっている

のをはじめて知りました。今後ともお体に留意のうえ、春日山部屋の発展のためにご尽力ください。

9. 昼食メニュー紹介

▼真鯛のファルシー、バナメイ海老添え



▼本日のデザート(スリーズ・ジュブレ)



10. 今後の例会予定

9月23日

- 「日も風も星も」
- 〈会員卓話〉「シュタイナー教育の魅力」
～子どもたちと世界をしっかりと結びつける学び～
横山義之様 (紹介者：大野千寿子 会員)

9月30日

- 「日も風も星も」
- 〈会員卓話〉「糖尿病の正しい理解」
～彼を知れば百選殆うからず～
横浜市立みなと赤十字病院 副院長：渡辺孝之 様
(紹介者：安田賢次 会員)

【今月の担当】

- 会報担当 前田成隆 会員
- 写真担当 後藤利行 会員
- ロータリーの友 四宮謙一 会員